

令和5年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」 東 中学校区実践計画書

事務局 八戸市立東中学校（教頭・鈴木 浩 司）

1 主題（1年次）

『見通しをもって 生き生きと学び 表現する児童・生徒の育成』

2 主題設定の理由

今の児童・生徒たちが社会で活躍する頃には、生産年齢人口のさらなる減少、グローバル化の進展や技術革新等により、社会や職業のあり方そのものも大きく変化する可能性があると言われている。そうした近未来を切り開いていく力を育成するため、さまざまな提言や報告がなされている。

このような時代を生きるために、重要とされているのが「主体的・対話的で深い学び」である。このことをより良く実現するために、「見通しをもつ」ことが大切であると考え。学びの場において、子どもに見通しをもたせることで、安心して、余裕をもって学習に取り組める環境を提供できる。まずは、目に見えるものから予測させ、後々は、目に見えない相手の心、思いを予想した行動や発言ができるようになることをねらいとしたい。

次に「生き生きと学ぶ」ためには、意欲を高める指導者の仕掛けとねらいに迫るための協働が大切であると考え。「やってみたい」という意欲を喚起させることで、学習の効率化や、学習の深化を図っていき

たい。

そして「生き生きと表現する」ために、発達段階に応じて手段や方法、表現の仕方を身に付けさせたり、場の設定を工夫したりすることが大切であると考え。様々な考え方に触れさせ、自分の考えを進んで表現できる児童・生徒を育成できるよう、指導の在り方について追求していきたい。

以上のようなことから、本研究テーマを設定した。

3 小・中ジョイントスクール推進事業を推進するための組織

☐ 会 長	東中校長	☐ 研究推進委員会	
☐ 副会長	町畑小校長 旭ヶ丘小校長	各校 校長，教頭，教務主任， 生徒指導主任(主事)，研修主任， 特別支援コーディネーター	
☐ 顧 問	東中 PTA 会長 畑小 PTA 会長 旭ヶ丘小 PTA 会長	○ 学習指導部 各校研修主任 ○ 生活指導部 各校生徒指導主事 ○ 特別支援部 各校特支コーディネーター等 ※ 各小・中学校の職員が各部に分かれ、 活動をする。	
☐ 事務局	東中教頭 町畑小教頭 旭ヶ丘小教頭		

4 中学校区の重点指導項目

東 中学校区 重点指導項目

＜見通しをもって、生き生きと学び、表現する児童・生徒を育成する授業づくり＞

- ア. 子どもが「予測」や「洞察」できるような、情報の提示や学習パターンの工夫
- イ. 子どもの意欲を喚起させる「導入」の工夫
- ウ. 子どもの「協働」場面の工夫
- エ. 子どもに表現の手段や方法を身につけさせるための工夫
- オ. 子どもが「表現」する場面の工夫

上記のア～オ のいずれか（複数可）を重点とし、授業実践し、検証、深化させる。